

事業計画書

事業名	子どもと高齢者の交流事業
団体名	子どもの未来を考える会

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	(取り組もうとする課題について、その現状や背景なども含めて明確に記載して下さい。) 松戸市西馬橋(旭町小中学校学区、虹の街町会エリア)は低所得層にある高齢者と子どもが多い地域で、彼らが孤立化しやすい状態にある。また隣近所にどういった人が住んでいるか、ほとんど知ることなく生活している人が大半を占め、防災面でも問題がある。 日常的に様々な住民がふれあう場所を作ることで、地域の協働の輪を広げていく。																		
事業の目的	子どもと高齢者を中心とした大人がお互いに交流したり、ボランティアしあったりすることで、それぞれが自分の存在価値を再確認し、大人には生きがい、子どもには安心が生まれる共同社会をつくりたい。 その為にはまずお互いがどこに住んでいて、どんな状況であるのかを知る必要がある。一年目の27年度はイベント開催によって子どものニーズの端緒を調査できた。28年度は27年に実施したイベントの内容を性格毎に分け、学校の協力や町会の承認も得て、小規模な遊びや学習の場を設ける。 春休みと夏休みに27年に実施した程度の大きな規模のイベントを開催して、学区外で隣接地域に住む子供たちや保護者達にも当団体の存在をアピールしていく																		
事業内容	(どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を記載して下さい。) 1 事業内容 ●子どもたちとの出会いの場づくりとしてのイベント開催 →(楽しく遊びながら子どもたちの様子を観察し、どういう子どもがいて、どんなことに興味を持つのかを調べたり、子どもと仲良くなるきっかけを作る、特に今まで参加出来なかった子どもに来てもらう) →月一回の定期的な居場所づくりに加えて、50人程度の規模のイベントを設けることで、地域全体に当団体の活動内容と、安心できる居場所の存在を認知してもらう 2 スケジュール <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月初旬</td> <td>ホールの予約</td> <td>馬橋市民センター</td> </tr> <tr> <td>5月中旬</td> <td>イベント内容の検討</td> <td>相川町事務所</td> </tr> <tr> <td>6月下旬</td> <td>チラシ作成</td> <td>旭町小学校に承認を得る</td> </tr> <tr> <td>7月初旬</td> <td>チラシ配布</td> <td>旭町小学校に依頼</td> </tr> <tr> <td>7月下旬</td> <td>道具類やお茶、準備品をそ</td> <td>クラフト、紙トンボ等工作物</td> </tr> </tbody> </table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	5月初旬	ホールの予約	馬橋市民センター	5月中旬	イベント内容の検討	相川町事務所	6月下旬	チラシ作成	旭町小学校に承認を得る	7月初旬	チラシ配布	旭町小学校に依頼	7月下旬	道具類やお茶、準備品をそ	クラフト、紙トンボ等工作物
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																	
5月初旬	ホールの予約	馬橋市民センター																	
5月中旬	イベント内容の検討	相川町事務所																	
6月下旬	チラシ作成	旭町小学校に承認を得る																	
7月初旬	チラシ配布	旭町小学校に依頼																	
7月下旬	道具類やお茶、準備品をそ	クラフト、紙トンボ等工作物																	

		ろえる	や掲示物等含む	
	8月二回	遊びのひろば開催	市民センターホール	
	8月下旬	反省会	虹の街会館	
	1月初旬	ホールの予約	馬橋市民センター	
	1月中旬	イベント内容の検討	相川町事務所	
	2月下旬	チラシ作成	旭町小学校に承認を得る	
	3月初旬	チラシ配布	旭町小学校に依頼	
	3月	遊びのひろば開催	市民センターホール	
事業の目標	<p>(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。) ※事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な居場所を月に一回相川町事務所または虹の街会館等で開催し、自由に子どもが過ごせる時間を設ける。(子どもの希望によって学習支援や読み聞かせ等も行う) その居場所に何度も顔を見てくれる子供を増やすべく、イベントを行う ●27年8月のイベントでは旭町小学校の全校生徒609名のうち、44名(7.2%)が参加してくれた。→これを50名に上げる ・イベントにはコミュニケーションに困難の有る子どもや、大人との会話を渴望している様子の子どもも見え、更なる調査の必要性を感じた。イベントの内容が盛り沢山だった上、学校の方もイベントを歓迎してくれているので、内容の組み合わせを工夫して、もっと地域の大人の持てる力を与えていきたい。 ・学校の方へは、総合の時間等を使わせてもらったり、放課後の活動等としてお話や遊びの場を設けてもらえるよう依頼していく協働体制を固めつつ、イベントの子供たちや保護者達へのチラシ配布をお願いし、引き続き市民センターで遊びのイベントを開催する 			
今後の展望	<p>(助成終了後の将来の展望を記載してください。)</p> <p>調査と子ども・高齢者の顔合わせが大体できたら、子ども自身が地域の問題や自分達の抱える困難について考えたり、意見を言う場を設けたりしたい。その「調査」「解決方法の考案」実現の場として居場所の内容を充実させ、例えば、休耕地で作物を育て、買い物、調理実習、食事の配布等を組み合わせて大人が持てる生活に役立つ知識を教え、子供は学んだことを実践でき、生きる力を身につけるといった活動につなげたい。</p> <p>→大人と子供が日頃から気軽にボランティアしあえるような環境を作っていく</p> <p>→町内会等を中心に物のカンパを募る…八百屋・パン屋・コンビニ等に商品の提供を、企業や商店からは資金の提供を依頼する</p> <p>その努力と仕掛けを作ることで会の活動の支援を継続させる</p>			

(第6条関係)

事業の予算概要

【収 入】

(単位：円)

科 目	金 額	積算内訳
団体	団体拠出金	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	寄付金	0 様より当団体への寄付金
	事業収入	0
	自己資金の合計額 (A)	¥ 41,700
市	市民活動助成金 (B)	¥ 37,000
合計額 (C) = (A + B)		¥ 41,700
		¥ 41,700

【支 出】

科 目	予算額	積算内訳 (概算)
助成金の交付対象経費	印刷費	¥ 8,000 クラフト、チラシのインク代 一回当たり10円 * 25枚 3回分 3円 * 700枚
	消耗品費	¥ 1,500 クラフト・チラシの用紙 5円 * 25枚 0.6円 * 700枚 3回分
	使用料	¥ 8,400 会場使用料 700円 * 4時間 3回分
	お茶代	¥ 2,100 麦茶ペットボトル6本*3
	紙コップ	¥ 400 50個入り*3 (@100円程度)
	文具	¥ 1,000 模造紙・ボンド・厚紙等
	イベント保険	¥ 5,300 1750円/回
	講師謝礼	¥ 15,000 折り紙講師へ謝礼金 5000円 * 3回
対象経費の合計 (D)		¥ 41,700
その他経費		
	その他経費の合計 (E)	¥ 0
合計額 (F) = (D + E)		¥ 41,700

【チェック項目】

- 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。